

I . 事業実施報告

事 業 概 要

新潟県立看護大学では、大学と地域の交流の場として「看護研究交流センター」を平成14年4月より開設しました。

大学の建学の精神である「ゆうゆう・くらしづくり」に基づき、大学の教育・研究の成果を地域へ提供し、活動を通じて地域と大学が共に成長していくための橋渡しを担っています。

地域の皆様からの要望をもとに、5つの部門の活動を柱にして、大学の教職員が情報を発信しています。

I 目的

看護研究交流センターは、看護科学における教育と研究の成果を地域に還元し、県民及び保健医療福祉関係者に対する学術支援並びに生涯学習・研修支援活動を通して、県内の保健・医療・福祉の向上に貢献することを目的としています。

II 各部門の主な活動内容

1. 先駆的学習支援部門 【市民公開講座】【看護大・上教大連携公開講座】

医療分野の著名な知識人や、先駆的な取り組みを行っている実践者を招いた市民公開講座を開催している。また、上越教育大学との連携事業を担っている。

2. 地域社会貢献部門 【いきいきサロン】

地域の医療者・大学と地域住民の交流会であるいきいきサロンを開催し、地域住民への学習の機会を提供している。

3. 看護職学習支援部門 【どこでもカレッジ公開講座】【バーチャルカレッジ】

現職の看護師や潜在看護師のリカレント教育を推進する事業「どこでもカレッジプロジェクト」を主体に、県内の看護職者への学び直しの機会を提供している。

4. 地域課題研究開発部門

【地域課題研究】【地域課題研究発表会】【上越地域看護研究発表会】

県内の保健・医療・福祉に携わる看護職と本学教員との共同研究の成果報告会である地域課題研究発表会や、上越地域の看護研究の発表の場である上越地域看護研究発表会の開催を担っている。

5. 特別研究部門

【メディカルグリーンツーリズム】

健康な暮らしを目指したメディカルグリーンツーリズムの企画を担っている。

【卒業生支援】

本学の教育を検証しながら卒業生支援を行う。また、看護師不足の背景を把握し、看護職者のライフステージを考慮した支援の方策を検討する。

【地域政策課題】

地域の課題を関係者と協働して政策的にまとめ、新潟県内の各地域が「健康・福祉のまち」として充実していくための事業を展開する。

III 事務局

【出前講座】

平成26年度より、本学教員の研究成果等を地域へ還元する地域貢献活動の一環として実施している。

【茶話会】

卒業生支援事業の一環として、本年度第1回目の茶話会を開催する。

IV 平成 27 年度 看護研究交流センター構成員

区 分	氏 名	職 名
	センター長 水 口 陽 子	基礎看護学教授
先駆的学習支援部門	部門長 平 澤 則 子	地域看護学教授
	境 原 三 津 夫	自然科学教授
	山 田 正 実	成人看護学准教授
	後 田 穰	精神看護学講師
	野 口 裕 子	地域看護学助教
	石 岡 幸 恵	成人看護学助教
	大 崎 麻 美	成人看護学助手
地域社会貢献部門	部門長 高 林 知 佳 子	地域看護学准教授
	大 久 保 明 子	小児看護学准教授
	安 藤 亮	老年看護学助教
	天 谷 ま り 子	母性看護学助教
	風 間 み え	助産学助教
	内 藤 み ほ	基礎看護学助教
	真 貝 早 悠 里	老年看護学助手
	久 保 野 裕 子	地域看護学助手
	安 達 寛 人	精神看護学助手
	伊 藤 ひ か る	精神看護学助手
看護職学習支援部門	部門長 岡 村 典 子	基礎看護学准教授
	高 林 知 佳 子	地域看護学准教授
	飯 田 智 恵	成人看護学講師
	中 澤 紀 代 子	母性看護学助教
	石 原 千 晶	成人看護学助教
	高 塚 麻 由	助産学助教
	川 島 良 子	基礎看護学助教
	加 賀 美 亜 矢 子	老年看護学助教
	鬼 形 充 智	成人看護学助手
	大 倉 由 貴	老年看護学助手

区 分	氏 名	職 名
地域課題研究開発部門	部門長 飯 吉 令 枝	地域看護学准教授
	石 田 和 子	成人看護学教授
	山 岸 ま な ほ	看護管理学准教授
	井 上 智 代	地域看護学講師
	北 村 千 章	小児看護学助教
特別研究部門	部門長 永 吉 雅 人	情報科学准教授
メディカルグリーン ツーリズム	酒 井 禎 子	成人看護学准教授
	小 林 綾 子	成人看護学講師
	リーダー 山 田 真 衣	小児看護学助教
	品 田 英 光	事務局長
卒業生支援	加 城 貴 美 子	母性看護学教授
	原 等 子	老年看護学准教授
	リーダー 高 島 葉 子	助産学准教授
	永 吉 雅 人	情報科学准教授
	エルダトンサイモン	情報科学助教
地域政策課題	平 澤 則 子	地域看護学教授
	野 村 憲 一	自然科学教授
	リーダー 高 柳 智 子	成人看護学教授
	飯 吉 令 枝	地域看護学准教授
	井 上 智 代	地域看護学講師

事 業 費

平成 27 年度予算配分額 4,564 千円

I 各部門配分額

先駆的学習支援部門	325
地域社会貢献部門	153
看護職学習支援部門	1,165
地域課題研究開発部門	236
特別研究部門	353

II 地域課題研究

研究代表者	配分額
金井 ちづる (新潟労災病院)	87
小池 陽平 (新潟労災病院)	90
村田 悦子 (新潟労災病院)	90
小宮山 陽子 (新潟県立中央病院)	82
鬼形 聖子 (新潟県立中央病院)	82
青木 美佐子 (新潟県立中央病院)	77
佐々木 美奈子 (新潟県立精神医療センター)	86
神保 佳枝 (長岡赤十字病院)	90

III その他

事務局管理費	1,648
合計	4,564

平成27年度 看護研究交流センター公開講座参加者数

	日時	講座名	テーマ	参加者数
1	5月21日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	腰痛を予防するには?	132
2	5月23日(土) 10:30～16:00	どこでもカレッジ	助産外来・院内助産にも対応できる 助産診断・技術学を再構築してみよう(妊娠・分娩期)	18
3	5月30日(土) 13:30～15:30	どこでもカレッジ	保健医療福祉分野の知識を活かして、国際協力の世界へ	27
4	6月18日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	今日からやってみよう 糖尿病予防 ―毎日の食事、再点検―	139
5	6月20日(土) 10:00～16:00	どこでもカレッジ	患者の安全を高めるTeamSTEPSの導入	65
6	6月27日(土) 13:00～16:00	どこでもカレッジ	看護研究のテーマを見つけよう	32
7	7月11日(土) 13:30～15:30	看護大・上教大 連携公開講座	青年期・成人期の発達障害のある人への支援を目指して	200
8	7月14日(火) 10:30～12:00	どこでもカレッジ	看護ケアを科学する～オキシトシン効果～	22
9	7月16日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	認知症なんてこわくない 「ぼけ」でも安心して暮らせるまちづくり	132
10	7月18日(土) 9:15～17:20 7月19日(日) 9:15～16:45	どこでもカレッジ	第4回ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラムin上越 「エンド・オブ・ライフ・ケア に関わる看護師のための研修会」	43
11	7月25日(土) 13:30～15:30	どこでもカレッジ	文献検索の基本 ～看護研究の論文を探す・入手する～	21
12	9月5日(土) 13:00～16:00	どこでもカレッジ	さあはじめよう看護研究 ～研究計画書の書き方まで～	21
13	9月12日(土) 9:30～12:30	どこでもカレッジ	呼吸のフィジカルアセスメント	30
14	9月17日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	日本人が食べてきた食事 「和食の良い所、悪い所を見直す」	111
15	9月26日(土) 9:30～12:10	研究発表会	平成27年度 第6回 上越地域看護研究発表会(上越保健所共催)	127
16	9月26日(土) 13:15～15:50		平成26年度 地域課題研究発表会 平成26年度 新潟県立看護大学特任講師実践活動報告会	79
17	9月29日(火) 10:00～15:30	どこでもカレッジ	わかりやすいプレゼンテーションのやりかた	6
18	10月3日(土) 10:00～16:00	どこでもカレッジ	エクセル統計処理	9
19	10月16日(金) 12:50～16:00	どこでもカレッジ	助産におけるセーフティマネジメント	21
20	10月23日(金) 18:00～19:30	市民公開講座	ネット依存症 ～インターネット使用障害の現状と対処～	177
21	10月24日(土) 13:00～16:00	どこでもカレッジ	自分を活かし後輩を活かすプリセプター/パートナーシップの あり方	28
22	10月29日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	最新の眼科医療で高齢者の眼病に立ち向かう	147
23	11月7日(土) 10:00～16:00	どこでもカレッジ	高齢者の爪ケア	30
24	11月19日(木) 18:30～19:30	いきいきサロン	介護予防は生活習慣病予防から	89
25	1月13日(水) 19:00～21:10	多職種連携	地域医療・包括ケアの未来を拓く多職種連携in上越 PartIX 上越地域の在宅医療・包括ケアの未来を語ろう(上越保健所共催)	167
いきいきサロン (6回)				750
どこでもカレッジ公開講座 (14回)				373
市民公開講座 (1回)				177
看護大・上教大連携公開講座 (1回)				200
研究発表会 (2回)				206
多職種連携(上越保健所共催) (1回)				167
合計 (25回)				1,873

事業広報活動

I 情報公開

情報公開についての活動は以下のとおりである。

1. 平成 26 年度看護研究交流センター 活動報告書 : 平成 27 年 4 月発行
2. 平成 27 年度看護研究交流センター ご案内(リーフレット) : 3,600 部
3. 平成 27 年度看護研究交流センター 出前講座(パンフレット): 1,200 部
4. 看護研究交流センター ホームページ : NEWS 欄にて情報を発信
5. いきいき県民カレッジ : 平成 26 年度より看護研究交流センターの公開講座を登録
(※どこでもカレッジ公開講座の一部を除く)

II 広報活動

広報誌、新聞、ラジオ等における広報目的の掲載は以下のとおりである。

1. 先駆的学習支援部門(24 回)

講座名	情報公開等
『看護大・上教大連携公開講座』 青年期・成人期の発達障害のある人への 支援を目指して	上越タイムス(5/19・7/9・7/10)、上越 ASA ニュース(5/28・6/17・7/9)、広報上越(6/15)、 上越よみうり(6/22・6/23)、joetsu assh(6/25)、 上越かわらばん(6/26・6/28)、朝日新聞(6/26)、 有線放送
『市民公開講座』 ネット依存症 ～インターネット使用障害の現状と対処～	上越よみうり(8/21・8/25)、上越 ASA ニュース (8/22・9/15)、上越タイムス(8/25、10/22)、 新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8 月)、 広報上越(9/15)、上越かわらばん(9/28)、有線 放送

2. 地域社会貢献部門『いきいきサロン』(73 回)

講座名	情報公開等
【第 1 回】 腰痛を予防するには?	joetsu assh(4/23)、広報いといがわおしらせ ばん(4/27)、上越タイムス(5/5・5/20)、FM-J エフエム上越(5/5)、上越 ASA ニュース(5/13)、 上越よみうり(5/14・5/15)、朝日新聞(5/15)、 上越かわらばん(5/19)、有線放送
【第 2 回】 今日からやってみよう 糖尿病予防 —毎日の食事、再点検—	広報いといがわおしらせばん(5/25)、joetsu assh(5/28)、上越よみうり(5/31・6/1)、広報 上越(6/1)、上越タイムス(6/2・6/17)、上越 ASA ニュース(6/10)、朝日新聞(6/12)、上越かわら ばん(6/17)、有線放送
【第 3 回】 認知症なんてこわくない 「ぼけ」でも安心して暮らせるまちづくり	joetsu assh(6/25)、上越タイムス(6/30・7/15)、 広報上越(7/1)、上越 ASA ニュース(7/8・7/14)、 朝日新聞(7/10)、上越よみうり(7/11・7/12・ 7/14)、有線放送
【第 4 回】 日本人が食べてきた食事 「和食の良い所、悪い所を見直す」	新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.27(7 月)、新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8 月)、joetsu assh(8/27)、広報上越

<p>【第4回】 日本人が食べてきた食事 「和食の良い所、悪い所を見直す」</p>	<p>(9/1)、上越タイムス(9/1・9/16)、上越よみうり(9/1・9/4・9/5・9/6)、上越かわらばん(9/6)、上越 ASA ニュース(9/9)、朝日新聞(9/11)、有線放送</p>
<p>【第5回】 最新の眼科医療で高齢者の眼病に立ち向かう</p>	<p>新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.27(7月)、新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8月)、広報上越(10/1)、上越 ASA ニュース(10/21)、上越タイムス(10/21・10/27・10/28)、朝日新聞(10/23)、上越よみうり(10/24・10/25・10/26)、上越かわらばん(10/27)、有線放送</p>
<p>【第6回】 介護予防は生活習慣病予防から</p>	<p>新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.27(7月)、新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8月)、広報上越(10/15)、上越タイムス(11/2・11/3・11/18)、上越 ASA ニュース(11/12)、上越よみうり(11/14・11/15・11/16・11/17)、上越かわらばん(11/17)、有線放送</p>

3. 看護職学習支援部門『どこでもカレッジ公開講座』(33回)

講座名	情報公開等
保健医療福祉分野の知識を活かして、国際協力の世界へ	上越 ASA ニュース(4/23)、joetsu assh(5/14)、上越かわらばん(5/17)
患者の安全を高める TeamSTEPS の導入	上越タイムス(4/14・6/19)
看護研究のテーマをみつけよう	上越タイムス(4/28・6/26)
看護ケアを科学する～オキシトシン効果～	FM-J エフエム上越(5/19)、上越タイムス(6/23・7/12)
文献検索の基本 ～看護研究の論文を探す・入手する～	上越タイムス(5/26)
さあはじめよう看護研究 ～研究計画書の書き方まで～	上越タイムス(4/28)
呼吸のフィジカルアセスメント	上越タイムス(7/21)、新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8月)
わかりやすいプレゼンテーションのやりかた	上越タイムス(7/28)、新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8月)
エクセル統計処理	上越タイムス(8/4)、新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8月)
助産におけるセーフティマネジメント	上越タイムス(8/18)、新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8月)
自分を活かし後輩を活かすプリセプター/パートナーシップのあり方	新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8月)
高齢者の爪ケア	新潟県立看護大学後援会だより vol.23(8月)、上越タイムス(9/15)
看護職員再就職支援講習会	広報いといがわおしらせばん(6/10)、新潟日報(6/22・6/28)、広報上越(7/1)、市報みょう

看護職員再就職支援講習会	こう(7/1)、上越タイムス(7/6・8/9)、朝日新聞(7/12)、読売新聞(7/12)、夕方ワイド新潟一番テレビ伝言板(7/13)
--------------	---

4. 地域課題研究開発部門(7回)

発表会名	情報公開等
平成 27 年度上越地域看護研究発表会 及び 平成 26 年度地域課題研究発表会・平成 26 年度新潟県立看護大学特任講師実践活動報告会	新潟日報(8/30)、上越タイムス(9/8)、上越 ASA ニュース(9/18)、上越よみうり(9/19・9/20・9/21)、有線放送

5. 事務局(2回)

講座名	情報公開等
出前講座	上越タイムス(4/7)
地域医療・包括ケアの未来を拓く多職種連携「上越地域の在宅医療・包括ケアの未来を語ろう」	上越タイムス(1/12)

※また、講座の内容、対象者によって異なるが、新潟県内の市町村、病院、関連施設へチラシを送付した。

Ⅲ 記事掲載・放送

新聞、放送等における取材は以下のとおりである。

1. 先駆的学習支援部門(1回)

講座名	記事掲載・放送
『看護大・上教大連携公開講座』 青年期・成人期の発達障害のある人への支援を目指して	上越タイムス(7/15)

2. 地域社会貢献部門『いきいきサロン』(13回)

講座名	記事掲載・放送
【第 1～6 回】	新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.28(1月)
【第 1 回】 腰痛を予防するには?	JCV わいど 120 分(6月)、JCV-Fan!(6/1)、新潟県立看護大学ニュースポルティコの広場 vol.27(7月)
【第 2 回】 今日からやってみよう 糖尿病予防 —毎日の食事、再点検—	JCV わいど 120 分(8月)、JCV-Fan!(8/1)
【第 3 回】 認知症なんてこわくない 「ぼけ」でも安心して暮らせるまちづくり	JCV わいど 120 分(8月)、JCV-Fan!(8/1)

3. 事務局(1回)

講座名	記事掲載・放送
地域医療・包括ケアの未来を拓く多職種連携「上越地域の在宅医療・包括ケアの未来を語ろう」	上越タイムス(1/15)

